



2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東
コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 彰典
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岩田 真一 TEL 03-6758-4738
定時株主総会開催予定日 2025年12月18日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年12月19日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の連結業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	7,131	△4.4	349	—	344	—	385	—
2024年9月期	7,462	29.6	△1,719	—	△1,712	—	△1,954	—

(注) 包括利益 2025年9月期 383百万円 (—%) 2024年9月期 △1,952百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	95.93	95.87	98.1	11.7	4.9
2024年9月期	△488.27	—	△166.8	△43.4	△23.0

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期 ー百万円 2024年9月期 ー百万円

(注) 2024年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	3,108	752	18.8	145.44
2024年9月期	2,782	352	7.3	50.18

(参考) 自己資本 2025年9月期 585百万円 2024年9月期 201百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	272	433	42	1,276
2024年9月期	△933	△652	748	528

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	7,700	8.0	300	△14.2	285	△17.4	185	△52.1	45.98

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年9月期	4,037,100株	2024年9月期	4,037,100株
2025年9月期	13,506株	2024年9月期	13,505株
2025年9月期	4,023,595株	2024年9月期	4,002,745株

（参考）個別業績の概要

2025年9月期の個別業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期	6,611	△6.1	312	—	304	—	378	—
2024年9月期	7,043	31.7	△1,773	—	△1,775	—	△1,978	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期	94.12	94.06
2024年9月期	△494.31	—

（注）2024年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	3,081	705	17.5	133.85
2024年9月期	2,770	313	5.9	77.82

（参考）自己資本 2025年9月期 538百万円 2024年9月期 162百万円

＜個別業績の前期実績値との差異理由＞

（1）個別経営成績

SNS広告が堅調に推移したものの、全体としてはインフルエンサーサービスにおける大型案件の反動減の影響などがあり、売上高は減収となりましたが、2024年9月期に発生いたしました一過性の売掛債権の貸倒に起因する費用がなくなったほか、営業努力により、営業黒字を回復し、各段階利益も黒字転換いたしました。

（2）個別財政状態

2024年9月期は、一過性の売掛債権の貸倒に起因する赤字により各資産ならびに自己資本比率が低下いたしました。2025年9月期の黒字転換により、純資産、自己資本比率等を大幅に回復しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	15
(重要な後発事象の注記)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、好調な建設需要やデジタル投資の拡大などによる押し上げで、穏やかな改善傾向にあります。一方で、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響が景気を下押しするリスクとなっており、加えて、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクがあるなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開を行う2024年の国内インターネット広告市場は、動画広告を中心に成長し、前年比9.6%増の3兆6,517億円（注1）と推計され、総広告費に占める構成比は47.6%に達しました。また、2024年の国内ソーシャルメディアマーケティング市場は、前年比12.8%増の1兆2,038億円、2029年には2兆1,313億円（注2）まで成長すると推計されております。

このような環境の中、当社グループでは「コミュニケーションを価値に変え、世の中を変える。」をミッションとし、「SMM（ソーシャルメディアマーケティング）事業」、「ライブ配信プラットフォーム事業」、「HR（ヒューマンリソース）事業」を展開してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高7,131百万円（前年同期比△4.4%減）、営業利益349百万円（前年同期は営業損失1,719百万円）、経常利益344百万円（前年同期は経常損失1,712百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益385百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失1,954百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①SMM事業

SMM事業では企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援しており、主に「インフルエンサーサービス」、「SNSアカウント運用」、「SNS広告」、「インターネット広告販売」を行っております。

「インフルエンサーサービス」では、「NINARY」及び「Ripre」を中心に、当社グループ独自のインフルエンサーネットワークを活用したプロモーション施策の企画提案を行っております。

「SNSアカウント運用」では、企業・ブランドのSNS公式アカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行っております。

「SNS広告」では、ソーシャルメディアプラットフォームの運用広告、ソーシャルメディアのプラットフォーム連動の独自メディアを活用した「tobuy」などのプロモーション施策の企画提案を行っています。

「インターネット広告販売」では、ソーシャルメディア関連広告を中心とした、他社の広告商品の販売を行っております。

当連結会計年度においては、SNS広告が堅調に推移し、サービスとしては増収となったものの、全体としてはインフルエンサーサービスにおける大型案件の反動減の影響や、SNSアカウント運用の伸び悩みがあり、SMM事業の売上高は6,611百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は1,187百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

②ライブ配信プラットフォーム事業

ライブ配信プラットフォーム事業では連結子会社である株式会社WithLIVEにおいて、有名アーティスト・タレント等とオンラインで1対1の対話ができるサービス等を行っております。

当連結会計年度においては、オンラインイベントのみならず、オフラインイベントにおける電子チケット事業の利用拡大、さらに独自の抽選システムの導入拡大により、推し活における特典会のDXを一気通貫して手がけるようになったことにより、売上高は425百万円（前年同期比20.6%増）、営業利益は29百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

③その他

その他では「HR事業」を行っております。

当連結会計年度においては、中途人材紹介人数と平均単価の増加により、売上高は97百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は22百万円（前年同期は営業損失71百万円）となりました。

（注1）出典：株式会社電通「2024年 日本の広告費」

（注2）出典：サイバー・バズ／デジタルインファクト調べ「2024年 国内ソーシャルメディアマーケティングの市場動向調査」

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は2,483百万円となり、前連結会計年度末に比べ847百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が748百万円増加、貸倒引当金が2,202百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が2,206百万円減少したことによるものであります。固定資産は624百万円となり、前連結会計年度末に比べ521百万円減少いたしました。これは主に敷金及び保証金が388百万円、のれんが61百万円、顧客関連資産が31百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ325百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ449百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が350百万円、未払消費税等が98百万円減少したことによるものであります。固定負債は627百万円となり、前連結会計年度末に比べ375百万円増加いたしました。これは主に社債が300百万円、長期借入金が92百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は752百万円となり、前連結会計年度末に比べ400百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が385百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は18.8%（前連結会計年度末は7.3%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ748百万円増加し、当連結会計年度末には1,276百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は272百万円（前連結会計年度末は933百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益400百万円、仕入債務の増加132百万円、減価償却費85百万円による増加要因、法人税等の支払額204百万円、未払又は未収消費税等の減少133百万円による減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は433百万円（前連結会計年度末は652百万円の使用）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入392百万円、投資有価証券の売却による収入53百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は42百万円（前連結会計年度末は748百万円の獲得）となりました。これは主に、社債の発行による収入300百万円、長期借入れによる収入200百万円による増加要因、短期借入金の純増減額の減少350百万円、長期借入金の返済による支出108百万円による減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループが事業展開を行うソーシャルメディアマーケティング市場は、2023年に1兆円を突破し、SNS市場のインフルエンサーマーケティング市場についても依然としてクライアント企業の商品ブランディングや認知度の向上が期待できることから、その手法の活用に関するニーズが高まっており、今後も市場拡大が期待されております。

当社グループでは、Ripre、Be One Agent等の自社プロダクトの一層の市場浸透により、従来よりも幅広いインフルエンサーとのネットワークを構築するとともに、新たなサービスとして、インフルエンサーアフィリエイトサービスであるWESELLあるいは、株式会社講談社ViVi事業部との共同事業による次世代メディアMYPEなどの市場投入などを通じ、クライアント企業の要望により一層応えてまいります。またインフルエンサー、SNSアカウント運用での実績データを蓄積することで、広告配信との連動を行い、SNSをめぐるトータルでの総合的なご支援において、更にその強みを発揮してまいります。

また、近年は、クライアント企業の業種を当社の強みであるコスメや日用品の既存カテゴリーに加え、食品、飲料、金融、教育等の新しいカテゴリーへ展開しており、これをさらに拡大していく方針であります。

加えて、中長期的かつ持続的な企業価値向上の観点から、ガバナンスの体制を強化しつつ、シナジーを見込める他社との事業提携やM&Aを含めた戦略投資をより一層行っていくこととしており、2026年9月期は、将来の事業成長に向けた戦略投資やCVC投資等を想定した戦略投資予算を1.5億円予算化しております。

以上を踏まえ、2026年9月期の連結業績予想につきましては、売上高7,700百万円（前年比8.0%増）、営業利益

300百万円（前年比14.2%減）、経常利益285百万円（前年比17.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益185百万円（前年比52.1%減）を見込んでおります。

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	528,651	1,276,957
受取手形及び売掛金	3,236,094	1,029,557
仕掛品	—	1,162
貯蔵品	972	665
その他	72,582	174,961
貸倒引当金	△2,202,612	—
流動資産合計	1,635,687	2,483,304
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	54,845	54,845
減価償却累計額	△4,170	△7,844
建物附属設備（純額）	50,674	47,000
工具、器具及び備品	155,203	149,831
減価償却累計額	△33,747	△51,111
工具、器具及び備品（純額）	121,456	98,719
有形固定資産合計	172,130	145,719
無形固定資産		
のれん	184,523	123,015
ソフトウェア	16,792	5,155
顧客関連資産	67,451	36,447
その他	47,187	31,458
無形固定資産合計	315,954	196,076
投資その他の資産		
投資有価証券	29,048	23,496
繰延税金資産	44,249	62,843
敷金及び保証金	564,072	175,411
その他	21,364	21,364
投資その他の資産合計	658,733	283,116
固定資産合計	1,146,819	624,912
資産合計	2,782,507	3,108,217

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	708,411	840,793
短期借入金	850,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	108,000	108,000
契約負債	47,951	59,368
未払金	106,479	60,652
未払法人税等	110,154	23,695
未払消費税等	111,804	13,183
ポイント引当金	7,030	6,160
その他	127,891	116,257
流動負債合計	2,177,722	1,728,110
固定負債		
社債	—	300,000
長期借入金	216,000	308,000
繰延税金負債	36,314	19,626
固定負債合計	252,314	627,626
負債合計	2,430,036	2,355,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,621	484,621
資本剰余金	484,621	484,621
利益剰余金	△739,092	△353,122
自己株式	△32,739	△32,740
株主資本合計	197,409	583,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,476	1,801
その他の包括利益累計額合計	4,476	1,801
新株予約権	150,584	167,300
純資産合計	352,470	752,480
負債純資産合計	2,782,507	3,108,217

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,462,203	7,131,164
売上原価	4,560,856	4,436,986
売上総利益	2,901,347	2,694,178
販売費及び一般管理費	4,620,828	2,344,614
営業利益又は営業損失(△)	△1,719,481	349,563
営業外収益		
ポイント収入額	3,430	2,117
助成金収入	9,112	1,990
役員報酬返納額	—	5,239
受取保険金	—	10,000
受取返還金	4,000	—
雑収入	1,216	1,222
営業外収益合計	17,758	20,568
営業外費用		
投資事業組合運用損	1,377	2,779
支払利息	8,263	14,582
社債利息	—	5,301
雑損失	704	2,608
営業外費用合計	10,345	25,271
経常利益又は経常損失(△)	△1,712,067	344,859
特別利益		
投資有価証券売却益	—	53,916
新株予約権戻入益	—	5,237
その他	—	162
特別利益合計	—	59,316
特別損失		
減損損失	15,929	—
投資有価証券評価損	58,000	—
固定資産除却損	—	3,622
特別損失合計	73,929	3,622
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,785,997	400,553
法人税、住民税及び事業税	190,909	49,867
法人税等調整額	△22,492	△35,282
法人税等合計	168,417	14,584
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,954,414	385,969
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,954,414	385,969

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△1,954,414	385,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,290	△2,675
その他の包括利益合計	2,290	△2,675
包括利益	△1,952,124	383,294
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,952,124	383,294

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	478,121	478,121	1,215,322	△32,647	2,138,916	2,186	2,186	117,368	2,258,471
当期変動額									
新株の発行 (新株予約権の行使)	6,500	6,500			13,000				13,000
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△1,954,414		△1,954,414				△1,954,414
自己株式の取得				△91	△91				△91
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						2,290	2,290	33,215	35,505
当期変動額合計	6,500	6,500	△1,954,414	△91	△1,941,506	2,290	2,290	33,215	△1,906,000
当期末残高	484,621	484,621	△739,092	△32,739	197,409	4,476	4,476	150,584	352,470

当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	484,621	484,621	△739,092	△32,739	197,409	4,476	4,476	150,584	352,470
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益			385,969		385,969				385,969
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△2,675	△2,675	16,716	14,040
当期変動額合計	—	—	385,969	△0	385,968	△2,675	△2,675	16,716	400,009
当期末残高	484,621	484,621	△353,122	△32,740	583,378	1,801	1,801	167,300	752,480

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,785,997	400,553
減価償却費	101,672	85,671
のれん償却額	61,507	61,507
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△53,916
投資事業組合運用損益(△は益)	1,377	2,779
固定資産除却損	—	3,622
新株予約権戻入益	—	△5,237
助成金収入	△9,112	△1,990
受取保険金	—	△10,000
株式報酬費用	33,215	21,953
支払利息及び社債利息	8,263	19,884
減損損失	15,929	—
投資有価証券評価損益(△は益)	58,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,202,612	—
売上債権の増減額(△は増加)	△333,139	3,924
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1	△855
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,202,343	132,382
未払金の増減額(△は減少)	23,944	△45,826
未払又は未収消費税等の増減額	20,985	△133,218
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,350	△870
契約負債の増減額(△は減少)	16,484	11,416
その他	52,590	△6,197
小計	△735,359	485,583
利息の支払額	△8,263	△19,884
助成金の受取額	9,112	1,990
保険金の受取額	—	10,000
法人税等の支払額	△199,371	△204,690
法人税等の還付額	206	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△933,675	272,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△37,500	—
投資有価証券の売却による収入	—	53,916
有形固定資産の取得による支出	△169,289	△6,129
無形固定資産の取得による支出	△14,160	—
敷金及び保証金の差入による支出	△431,275	△6,979
敷金及び保証金の回収による収入	—	392,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652,226	433,307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	850,000	△350,000
長期借入れによる収入	1,000,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△1,114,000	△108,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13,000	—
社債の発行による収入	—	300,000
その他	△91	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	748,908	42,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△836,993	748,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,365,645	528,651
現金及び現金同等物の期末残高	528,651	1,276,957

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「SMM事業」を主な事業とし、これに加えて連結子会社を中心に「ライブ配信プラットフォーム事業」及び「HR事業」等を通規投資事業として位置づけております。当社グループはこれらを基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「SMM事業」及び「ライブ配信プラットフォーム事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であり、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値です。

当社グループでは、2025年7月からインフルエンサーアフィリエイトサービスを開始しており、当該事業に関するセグメント損益は、マネジメント・アプローチの観点から、「その他」の区分に含めております。これに伴い経営指標等の見直しを行い、セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供しておらず、経営資源の配分の決定及び業績評価の検討対象となっていないため、当連結会計年度より「セグメント資産」を開示しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	SMM事業	ライブ配信 プラットフォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,022,492	350,299	7,372,791	89,411	7,462,203	—	7,462,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	100	2,083	2,183	4,220	6,403	△6,403	—
計	7,022,592	352,382	7,374,974	93,631	7,468,606	△6,403	7,462,203
セグメント利益又は損失（△）	1,494,717	27,941	1,522,658	△71,944	1,450,713	△3,170,195	△1,719,481
セグメント資産	994,740	400,515	1,395,255	10,779	1,406,034	1,376,472	2,782,507
その他の項目							
減価償却費	3,487	50,643	54,131	4,467	58,598	43,073	101,672
のれんの償却額	—	61,507	61,507	—	61,507	—	61,507
減損損失	—	—	—	15,929	15,929	—	15,929
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	14,494	—	14,494	15,991	30,486	159,569	190,055

- （注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業、新規事業開発を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△3,170,195千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント資産の調整額1,376,472千円は、セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金）であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 「その他」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度においては15,929千円であります。

Ⅱ 当連結会計年度（自 2024年10月 1 日 至 2025年 9 月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	SMM事業	ライブ配信 プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,610,870	423,184	7,034,055	97,109	7,131,164	—	7,131,164
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	324	1,900	2,224	—	2,224	△2,224	—
計	6,611,194	425,084	7,036,279	97,109	7,133,388	△2,224	7,131,164
セグメント利益	1,187,073	29,621	1,216,695	22,550	1,239,245	△889,682	349,563
その他の項目							
減価償却費	3,673	48,358	52,031	—	52,031	33,640	85,671
のれんの償却額	—	61,507	61,507	—	61,507	—	61,507

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△889,682千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当社グループは、報告セグメントに資産を分配していないため、「セグメント資産」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	50円18銭	145円44銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△488円27銭	95円93銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	95円87銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△1,954,414	385,969
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△1,954,414	385,969
普通株式の期中平均株式数(株)	4,002,745	4,023,595
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	2,488
(うち新株予約権(株))	(一)	(2,488)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2020年9月16日開催の取締役会決議による第4回新株予約権 新株予約権の数 268個 (普通株式 26,800株) 2021年5月12日開催の取締役会決議による第5回新株予約権 新株予約権の数 335個 (普通株式 33,500株) 2022年2月9日開催の取締役会決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 425個 (普通株式 42,500株) 2023年5月10日開催の取締役会決議による第8回新株予約権 新株予約権の数 490個 (普通株式 49,000株)	2018年5月31日開催の取締役会決議による第3回新株予約権 新株予約権の数 358個 (普通株式 17,900株) 2020年9月16日開催の取締役会決議による第4回新株予約権 新株予約権の数 254個 (普通株式 25,400株) 2021年5月12日開催の取締役会決議による第5回新株予約権 新株予約権の数 320個 (普通株式 32,000株) 2021年12月15日開催の取締役会決議による第6回新株予約権 新株予約権の数 80個 (普通株式 8,000株) 2022年2月9日開催の取締役会決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 410個 (普通株式 41,000株) 2023年5月10日開催の取締役会決議による第8回新株予約権 新株予約権の数 490個 (普通株式 49,000株) 2025年2月12日開催の取締役会決議による第9回新株予約権 新株予約権の数 580個 (普通株式 58,000株)

(重要な後発事象の注記)

(多額な資金の借入及び返済)

当社は、2025年9月30日開催の臨時取締役会において、長期資金の調達による財務基盤の安定性を高めるため、株式会社三井住友銀行を貸付人とした既存短期借入金について、借換を実施することを決議し、当座借越契約及び金銭消費貸借契約を締結し、2025年10月6日に借入を実行しました。

当座借越契約の概要

(1) 資金使途	運転資金
(2) 契約先	株式会社三井住友銀行
(3) 極度枠	300百万円
(4) 契約期限	2026年9月30日
(5) 利率	基準金利
(6) 担保の有無	無担保・無保証

なお、現時点での借入実行残高は300百万円です。

金銭消費貸借契約の概要

(1) 資金使途	運転資金
(2) 借入先	株式会社三井住友銀行
(3) 借入金額	200百万円
(4) 返済期日	2028年9月29日
(5) 利率	基準金利＋スプレッド
(6) 返済方法	元本均等返済
(7) 担保の有無	無担保・無保証

既存借入金返済の概要

(1) 資金使途	運転資金
(2) 借入先	株式会社三井住友銀行
(3) 借入金額	500百万円
(4) 返済期日	2025年10月6日
(5) 利率	基準金利
(6) 返済方法	期日一括返済
(7) 担保の有無	無担保・無保証

(子会社の設立)

1 当社は、2025年11月4日付で当社の連結子会社として、メンズのSNSマーケティング業務を担う株式会社Men's B.P.を設立いたしました。

(1) 設立の目的

近年、男性美容やセルフケア市場は急拡大し、スキンケア、メイク、ファッション、ヘルスケアなど多様な分野で新たなライフスタイルが形成されております。こうした市場の変化を受け、当社は“男性が自分自身に誇りを持ち、より豊かな人生を歩める社会を創る”というビジョンのもと、男性領域に特化したマーケティング支援を推進するために、株式会社Men's B.P.を設立いたしました。

(2) 子会社の概要

名称	株式会社Men's B.P.
所在地	東京都渋谷区桜丘町12番10号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宍戸 翔哉
事業内容	メンズのSNSマーケティング
資本金	20百万円
設立時期	2025年11月4日
株主構成	当社100%

2 当社は、2025年11月12日付で当社の連結子会社として、コーポレート・ベンチャー・キャピタル機能を担う株式会社Buzz Innovationを設立いたしました。

(1) 設立の目的

当社は、当社グループの持続的な企業成長の一助として、事業投資及びM&A等と併進し、成長領域をカバーすること、具体的には、当社グループとシナジーのある、または成長性が見込める事業及び技術領域のアーリーステージ企業への投資を基本方針とするベンチャー投資を推進するため、株式会社Buzz Innovationを設立いたしました。

(2) 子会社の概要

名称	株式会社Buzz Innovation
所在地	東京都渋谷区桜丘町12番10号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岩田 真一
事業内容	スタートアップ企業への投資、経営支援・ノウハウ等の提供
資本金	5 百万円
設立時期	2025年11月12日
株主構成	当社100%